

(様式1)

令和5年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 027	提案機関名 JA全農神奈川県本部
要望問題名 春作馬鈴しょを利用した秋作馬鈴しょの栽培について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 秋作馬鈴しょ栽培は、デジマ・ニシユタカ等を種馬鈴しょとして購入して栽培をしているが、種馬鈴しょの生産者は年々減少し、異常気象による不作のため不安定な供給が続いている。 今年度は原種も激減し、数年は全国的に秋作種馬鈴しょが逼迫する見通しとなっている。 そのため他県からの購入だけに頼らず、5～7月に収穫した春作馬鈴しょを秋作用の種馬鈴しょとして利用することで、秋作馬鈴しょの栽培を安定して行う栽培技術の確立をお願いしたい。	
解決希望年限	<input type="checkbox"/> ①1年以内 <input type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター <input type="checkbox"/> ②畜産技術センター <input type="checkbox"/> ③水産技術センター <input type="checkbox"/> ④自然環境保全センター
備考 春作用種馬鈴しょの提供が可能。	

回答機関名	農業技術センター	担当部所	生産技術部
対応区分	<input type="checkbox"/> ①実施 <input type="checkbox"/> ②実施中 <input type="checkbox"/> ③継続検討 <input checked="" type="checkbox"/> ④実施済 <input type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 <input type="checkbox"/> ⑥現地対応 <input type="checkbox"/> ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合) 野菜品種の特性検定 ジャガイモの品種特性検定試験（平成14年度試験研究成績書）		
対応の内容等	本県の春作に適した品種としてキタアカリ、メイクイーン、男爵、とうや、アンデスレッドなどがあります。上記試験研究成績書でアンデスレッドや普賢丸、レッドムーンが秋作にも利用可能であることを報告しています。一方、キタアカリや男爵は、休眠が長いため、十分な肥大が得られません。		
解決予定年限	<input type="checkbox"/> ①1年以内 <input type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内		
備考			